

お知らせ

記者発表資料

令和4年5月31日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

## 令和4年度都市景観大賞『優秀賞』受賞

～「都市空間部門」で中国地方から3地区が受賞～

令和4年度都市景観大賞の都市空間部門において、中国地方から「久松地区（鳥取県鳥取市）」、「倉敷市阿知3丁目東地区（岡山県倉敷市）」及び「新山口駅周辺地区（山口県山口市）」の3地区が優秀賞を受賞しました。

「都市空間部門」の受賞全6地区中、3地区が中国地方から選定されています。



○受賞地区

久松地区

（鳥取県鳥取市）

○受賞者

鳥取市

鳥取市教育委員会

○受賞地区

倉敷市阿知3丁目東地区

（岡山県倉敷市）

○受賞者

あちてらす倉敷まちづくり協議会

倉敷まちづくり株式会社

倉敷市

株式会社アール・アイ・エー

株式会社藤木工務店

○受賞地区

新山口駅周辺地区

（山口県山口市）

○受賞者

山口市

株式会社プランツアソシエイツ

<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 建政部 計画・建設産業課

082-221-9231（代表）

【担当】

計画・建設産業課長

ささき まさる  
佐々木 優（内線6121）

計画・建設産業課長補佐

にしこり つとむ  
錦織 務（内線6123）

# 令和4年度 都市景観大賞

## 1. 都市景観大賞とは

都市景観大賞（主催：「都市景観の日」実行委員会）は、良好な景観の形成に資する普及啓発活動の一環として、平成3年度より毎年度実施されている表彰制度です。

景観に関する優れた地区・活動に対して表彰し、更なる取組みの契機としていただくとともに、全国に広く紹介し良好な景観の形成が進んでいくことを目的としています。

## 2. 都市景観大賞の表彰部門について

現在、都市景観大賞では以下の2部門により募集・審査が実施されています。

### <都市空間部門>

公共空間とその周りの宅地・建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、それを市民が十分に活用することによって、地域の活性化が図られている地区を対象とするもの。

### <景観まちづくり活動・教育部門>

景観まちづくり教育の実施や、街歩きや景観に関するセミナーの開催、景観制度を活用した取組など景観まちづくり活動の実施による良好な景観形成等のための活動を地域に根差して行っており、それらが地域の人々の良好な景観形成等への意識・関心の高揚等につながっている優れた活動を対象とするもの。

「久松地区（鳥取県鳥取市）」、「倉敷市阿知3丁目東地区（岡山県倉敷市）」及び「新山口駅周辺地区（山口県山口市）」は、いずれも<都市空間部門>における受賞となります。

※受賞地区の詳細は別紙をご確認ください。

## 3. 参考資料

- 別紙1 令和4年度 中国地方における受賞地区、活動の詳細
- 別紙2 令和4年度 受賞地区、活動一覧（全国分）
- 別紙3 中国地方における過去の受賞履歴
- 別紙4 令和4年度 都市景観大賞募集内容

# 優秀賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

きゆうしよう

## 久松地区

所在地 鳥取県鳥取市  
 地区面積 約37ha  
 応募者 鳥取市、鳥取市教育委員会

### 地区概要

久松地区は JR鳥取駅の北方に位置し、久松山山系をはじめ、日本100名城である国指定の史跡鳥取城跡、日本さくら名所100選に選ばれた久松公園、国の重要文化財の仁風閣など歴史的建造物が数多く存在する鳥取市の観光名所の1つである。

史跡鳥取城跡は保存整備基本計画に基づき整備を進めており、城跡の復元を通じて、鳥取の歴史や誇りを次世代に伝えるとともに、鳥取の魅力をより一層高めていくことを目指している。

以前のお堀端通りは、歩道幅員が狭いうえに道路に並行して駐車場があったため、安全性、利便性の確保などに問題があった。また、電柱や電線による景観の阻害も問題となっていたため、これらを解消するために道路の無電柱化や美装化などの一体的な取り組みを行った。

こうした様々な取り組みについて市関係課等が連携を図りながら実施することにより、地区住民をはじめ観光客など来訪者への魅力の発信につながり、年々多くの人を訪れている。

鳥取城の象徴でもあった「二ノ丸三階櫓」の復元について2032年の着手を目指すなど、今後もより一層鳥取の魅力を高めていくと同時に、自然・歴史・文化が調和した景観の保全にも努めていく。



街なみ環境整備事業により美装化、無電柱化、歩道拡幅を行ったお堀端通り。歩道拡幅により、生徒の通学時における安全性が確保された。



お堀端通りから久松山を背景に鳥取城跡を望む様子。美装化などの環境整備に加えてベンチなどを効果的に配置することでくつろぎ空間を確保。

### 審査講評

久松地区は、鳥取県の久松山山系に位置する近世城下町の佇まいを有する地区にあり、鳥取市景観計画の「久松山山系景観形成重点区域」に位置する。平成17年に国指定「鳥取城跡」の全体の保存整備計画を策定し、「擬宝珠橋」や「中ノ御門表門」を復元、このほど「久松地区街なみ環境整備事業」により、電柱の地下埋設、歩道拡幅、歴史的景観に配慮した独自の美装事業を実施した。この美装街路は、城の絵図などを参考に、他に類をみない色彩となっており、城址景観をより往時に近いものとしている。市では平成18年の「史跡鳥取城保存整備基本計画」を策定以降、教育委員会、都市企画課（景観所管）、道路課等そして、地元市民団体「久松山を考える会」が連携協力して事業を行ってきたという経緯がある。地区内には、久松小学校と県立西高等学校があり、子供たちが「橋磨き」に参加している。また、県立西高等学校生徒に対して、教育委員会職員が鳥取城の歴史や復元計画についての講演会を毎年実施しており、話を聞いた生徒はすでに1000人を超えると聞いており、青年会議所、商工会、（一社）麒麟のまち観光局など地元との協働にも役立っている。本事例は、地元の市民団体「久松山を考える会」との連携指導のもと、教育委員会文化財課と都市企画課、道路課がコンセプトを共有し、一丸となって、景観に取り組んだ事例であり優秀賞に相応しい。（池邊）



保存整備基本計画により復元した擬宝珠橋（大手橋）と中ノ御門表門（大手門）。中ノ御門表門（大手門） 竣工イベントに沸く様子。



花見でにぎわう春の史跡鳥取城跡（久松公園）の様子。

## 優秀賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

あち  
倉敷市阿知3丁目東地区

所在地 岡山県倉敷市

地区面積 1.7ha

応募者 あちてらす倉敷まちづくり協議会、倉敷まちづくり株式会社、倉敷市、株式会社アール・アイ・イー、株式会社藤木工務店

## 地区概要

当地区は、倉敷市中心市街地活性化基本計画の「中心拠点区域」に位置し、倉敷市の広域拠点のみならず、高梁川流域圏の広域拠点として、都市機能集積を誘引し、更なる賑わいを創出する市街地の形成を目指すとともに、「滞在快適性等向上区域」として公共空地などを活用した取り組みにより、官民一体となった居心地の良いまちなか創出を目指すエリア内にある。

当地区は、市街地再開発事業の施行により、①倉敷市の広域拠点の玄関口にふさわしい風格ある景観形成に寄与する建物デザイン、②倉敷美観地区からの景観に配慮した建物デザイン、③居心地の良いまちなかの創出を図る官民連携によるオープンスペースの整備を行い、土地の高度利用、都市機能の集積及び都市景観の形成を実現した。

## 審査講評

倉敷駅から観光の拠点である倉敷川畔美観地区に至るメインストリートに面した再開発事業の事例である。2010年倉敷市景観計画が施行され、当該地区における建築物の高さの最高限度の基準が定められたことにより、建物の高さを60.8mから31mに変更する必要が生じた。その後9年にわたり、景観地区である美観地区からの眺望も含め、都市景観審議会専門部会とのやり取りを行いながら、建物の高さ、ボリューム、分棟化、壁面の分節化、さらに素材、色彩、屋外広告物のデザイン、オープンスペースの利活用、隣接商店街の街並みへの配慮などが検討され、一定の成果をあげたことは評価できる。地方都市の再開発計画において、周辺地区の景観にも配慮をした「身の丈再開発」の事例として、他都市でも参考になるとと思われる。(卯月)



対象地区の東面全景。  
周辺建物などに配慮した建物の分棟・雁行配置。



東側の公共空地。  
ガラスサッシを採用して店舗の賑わいが外部に滲み出すよう演出。



街並みに馴染む景観を形成した旧一番街商店街沿い。



駅前中央通りから来街者の誘導を図り、滞留空間を演出した中央の公共空地。

# 優秀賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

## 新山口駅周辺地区

所在地 山口県山口市  
 地区面積 約2.2ha  
 応募者 山口市、株式会社プランツアソシエイツ

### 地区概要

新山口駅は、かつて小郡駅と呼ばれ、山口県・市の陸の玄関口として古くから交通の要衝として発展してきた。平成19年策定の山口市総合計画において、市役所などが位置する山口都市核（文化交流拠点）と広域的かつ活発な経済活動を支える小郡都市核（産業交流拠点）という二つの都市核づくりビジョンが掲げられ、小郡都市核については、新山口駅を中心に、「ターミナルパーク整備構想」（新山口駅ターミナル整備+新山口駅北地区重点エリア整備）として、約13haの整備が進められてきた。

駅の橋上化や空港からの道路網整備などとあわせて、駅周辺の利便性を向上させるべく、平成23年に設計プロポーザルにより北口駅前広場設計者を選定し、「まちと駅をつなぐ0番線」をキーワードに、足掛け7年にわたって駅前広場の整備が行われた。平成30年の駅前広場完成以降も、南口広場整備や重点エリアの施設整備が続き、令和2年にエリア全体が完成した。

これらの整備に伴って、通過型の駅利用から滞在型へと人の流れにも変化が見られるほか、周辺にマンションが増え始め、地価も上昇するなど、地域の活性化という目標には一定の効果が見られている。

### 審査講評

精緻で美しく佇まいのよい駅関連施設である。かつて駅の南北を行き交うことさえ不自由だった時代には予想もできないほど、今は交流・発信の場として都市生活の拠点空間となっている。山口市の都市核づくりにより駅を中心とした小郡核がクローズアップされ基本計画が立案された。その柱となったのが駅前広場及び南北自由通路である。公開プロポーザルによる選定後、ヒアリング、シンポジウム、ワークショップを行い、計画内容や課題を市民と共有してきた。その結果、完成時期が遅れることとなるが、密度の濃い地域密着型のプロセスを経たことで、駅がもつ新たな価値や将来への可能性を獲得したようである。自由通路には垂直の庭と銘打った壁面状の庭園がある。専門家、リーダー、市民が協力し合い設置から維持管理までを行い共に学び育てる場となっている。サインや環境グラフィックは地域の個性や文化を伝える秀逸なもので、わかりやすく親しみやすい交通空間の重要な役割を果たしている。特筆すべきは供用後数年を経過したが後付けの張り紙など見当たらない。これは的確な街の情報環境が整っている証であろう。サインや照明などは隣接する別の開発エリアにも同様に展開されている。このように周辺への良好なデザインの連鎖が見られ、駅から始まる街づくりに今後も大いに期待が持てる。（富田）



西側上空より北口駅前広場全景を望む。



北口駅前広場グランドプラザを見る。ベンチや植栽を配置し居心地の良いスペースとなった。



改札口と直結する南北自由通路。24時間通行可能で、壁面緑化や足元を行き来する鉄道を楽しみながらゆったりと時間を過ごすことができる。



バス待合所。工事期間中、仮設バスのりばにデザインした「黒バス」のグラフィックが好評だったこともあり、本設のバスのりばにも採用した。

## 都市空間部門 受賞地区一覧

## 大賞 国土交通大臣賞

地区名	地区面積	応募者
大阪府大東市北条 <sup>ほりょう</sup> (morineki)地区 (大阪府大東市)	約1.1ha	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大東市</li> <li>・株式会社コーミン</li> <li>・東心株式会社</li> <li>・株式会社ブルースタジオ</li> <li>・株式会社石本建築事務所</li> <li>・もりねき未来会議</li> </ul>

## 優秀賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

地区名	地区面積	応募者
先斗町地区 <sup>ほんまちょう</sup> (京都府京都市)	約2.1ha	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先斗町まちづくり協議会</li> <li>・京都市</li> </ul>
久松地区 <sup>きゅうしょう</sup> (鳥取県鳥取市)	約37ha	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取市</li> <li>・鳥取市教育委員会</li> </ul>
倉敷市阿知3丁目東地区 <sup>あち</sup> (岡山県倉敷市)	約1.7ha	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あちてらす倉敷まちづくり協議会</li> <li>・倉敷まちづくり株式会社</li> <li>・倉敷市</li> <li>・株式会社アール・アイ・エー</li> <li>・株式会社藤木工務店</li> </ul>
新山口駅周辺地区 (山口県山口市)	約2.2ha	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山口市</li> <li>・株式会社プランツアソシエイツ</li> </ul>

**特別賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞**

地区名	地区面積	応募者
竹芝地区 (東京都港区)	約28ha	<ul style="list-style-type: none"><li>・一般社団法人竹芝エリアマネジメント</li><li>・東京都</li><li>・港区芝地区総合支所</li><li>・東急不動産株式会社</li><li>・鹿島建設株式会社</li><li>・株式会社アルペログランデ</li><li>・竹芝 Marine-Gateway Minato 協議会</li><li>・一般社団法人竹芝タウンデザイン</li><li>・東日本旅客鉄道株式会社</li><li>・株式会社 JR 東日本建築設計</li><li>・株式会社水辺総研</li><li>・公益財団法人東京都島しょ振興公社</li><li>・株式会社石勝エクステリア</li><li>・竹芝地区まちづくり協議会</li><li>・一般社団法人 CiP 協議会</li><li>・公益財団法人東京都公園協会</li><li>・東京港埠頭・テレポートセンターグループ</li><li>・国立大学法人東京海洋大学 佐々木剛研究室</li><li>・東京都立芝商業高等学校</li></ul>

---

## 景観まちづくり活動・教育部門 受賞活動一覧

### 大賞 国土交通大臣賞

活動名	活動エリア	応募者
<small>しらかわ</small> 白川「緑の区間」における 水辺の賑わいを創出するための地域活動	熊本県 熊本市	・白川「緑の区間」利活用推進協議会

### 優秀賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

活動名	活動エリア	応募者
松本の都市デザイン・ 景観を考える講座・ワークショップ	長野県 松本市	・松本市
近江八景と東海道でつながる 大津市と草津市の景観づくり	滋賀県 大津市・草津市	・びわこ大津草津景観推進協議会 ・公益社団法人滋賀県建築士会 大津地区委員会・同湖南地区委員会
アーバンデザイン・ スマートシティスクール松山	愛媛県 松山市	・松山アーバンデザインセンター

### 特別賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

活動名	活動エリア	応募者
世界文化遺産 姫路城中曲輪バタフライガーデン創造事業	兵庫県 姫路市	・姫路市立白鷺小中学校 ・白鷺学校運営協議会



## 都市景観大賞 中国地方における過去の受賞履歴

(平成13年度以降)

## 「美しいまちなみ賞」(平成13年度～平成22年度)

年 度	表彰内容	地 区 名	応 募 者
平成13年度	優秀賞	福山市 福山久松通り地区	・福山久松通商店街振興組合 ・広島県福山市 ・福山商工会議所
平成17年度	大賞	倉吉市 打吹地区	・打吹地区歩行ネットワークを考える会 ・鳥取県倉吉市
平成18年度	優秀賞	津和野町 環境保全地区	・津和野町まちづくり検討委員会 ・島根県津和野町
平成19年度	優秀賞	宇部市 中央町三丁目地区	・宇部中央地区再開発推進協議会 ・山口県宇部市
平成20年度	優秀賞	鳥取市 夢街道・鹿野往來城下町地区	・特定非営利活動法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会 ・鳥取県鳥取市
平成21年度	大賞	真庭市 勝山町並み保存地区	・かつやま町並み保存事業を応援する会 ・岡山県真庭市
平成22年度	大賞	倉敷市 倉敷美観地区	・倉敷伝建地区をまもり育てる会 ・特定非営利活動法人倉敷町家トラスト ・岡山県倉敷市

## 「都市空間部門」(平成23年度以降～)

年 度	表彰内容	地 区 名	応 募 者
平成23年度	優秀賞	江津市域地区	・島根県江津市
	優秀賞	浜崎地区	・浜崎しつちよる会 ・山口県萩市
平成24年度	大賞	吹屋地区	・吹屋町並保存会 ・岡山県高梁市
平成25年度	大賞	城下町長府地区	・城下町長府景観協議会 ・下関市
平成27年度	優秀賞	神門通り地区	・島根県 ・出雲市 ・神門通り甕りの会
平成30年度	優秀賞	三次町歴史的街並み景観形成地区	・三次町歴みち協議会 ・三次地区自治会連合会 ・三次市
令和2年度	優秀賞	奥出雲たたら製鉄及び棚田の文化的景観 (国選定重要文化的景観)	・奥出雲町 ・奥出雲町教育委員会 ・奥出雲町農業遺産推進協議会 ・奥出雲町文化体験実行委員会 ・公益財団法人可部屋集成館 ・公益財団法人糸原記念館 ・一般社団法人奥出雲地域活性化プロジェクト ・大原新田棚田保全管理委員会
	優秀賞	尾道市景観地区 (尾道・向島歴史的風致地区)	・尾道市
	優秀賞	徳山駅周辺地区	・周南市 ・周南市中心市街地活性化協議会 ・山口県建築士会徳山支部
令和3年度	優秀賞	山口県長門市深川湯本地区 (長門湯本温泉)	・長門湯本温泉観光まちづくり推進会議 ・長門湯本温泉観光まちづくりデザイン会議

## 「景観まちづくり活動・教育部門」(平成28年度～)

年 度	表彰内容	活 動 名	応 募 者
平成25年度	大賞	関門地区(北九州・下関市) 景観ウォッチング&セミナー	・公益社団法人福岡県建築士会北九州地域会 ・山口県建築士会下関支部 ・関門景観協議会(下関市・北九州市)
令和3年度	優秀賞	町歩きガイドツアー 「古地図を片手に、ぶらり萩あるき」	・NPO萩まちじゅう博物館 ・NPO萩観光ガイド協会 ・浜崎しつちよる会 ・須佐地域史跡案内ボランティアガイドの会 ・萩往還佐々木どうしんてやろう会 ・萩市

※当部門は平成23～27年度には「景観教育・普及啓発部門」として募集・表彰されてきました。

# 令和4年度 都市景観大賞について

令和4年度は、下記の通り「都市空間部門」と「景観まちづくり活動・教育部門」について募集しました。

## I 都市空間部門について

### 1. 表彰目的

都市景観大賞「都市空間部門」は、良好な都市景観を生み出す優れた事例を選定し、その実現に貢献した関係者を顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

### 2. 表彰内容

- ① 大賞（国土交通大臣賞） …………… 1地区
- ② 優秀賞 …………… 数地区
- ③ 特別賞 …………… 内容に応じ、適宜選定

### 3. 対象地区の要件

本賞は、街路・公園・水辺・緑地等のパブリックスペースと建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、それを市民が十分に活用することによって、地域の活性化が図られている地区を対象とします。単独の「公共施設・民間建築物（付属公開空地等を含む場合も同じ）・構造物（付属公開空地等を含む場合も同じ）」は対象になりません。

### 4. 応募者の資格

良質で優れた都市景観の実現に深く寄与した地方公共団体、まちづくり組織、市民団体、民間企業・コンサルタント、独立行政法人、公社等とします。

※多くの関係者による共同応募が望ましいですが、単独でも応募者になれます。  
※応募者に地方公共団体が含まれない場合には、地方公共団体の確認を得たうえで応募してください。

### 5. 審査

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地視察、ヒアリング）した上で、表彰地区を選定します。

### 6. 審査委員

[委員長]

陣内 秀信 法政大学特任教授、中央区立郷土天文館館長

[委員]

池邊このみ 千葉大学大学院教授

卯月 盛夫 早稲田大学教授

岸井 隆幸 (公財)都市づくりパブリックデザインセンター理事長、  
日本大学特任教授

佐々木 葉 早稲田大学教授

高見 公雄 法政大学教授

田中 一雄 (株)GK デザイン機構代表取締役

富田 泰行 トミタ・ライティングデザイン・オフィス代表取締役

国土交通省 都市局公園緑地・景観課長

国土交通省 都市局市街地整備課長

国土交通省 住宅局市街地建築課長

(順不同、敬称略、令和4年3月時点)

## II 景観まちづくり活動・教育部門について

### 1. 表彰目的

都市景観大賞「景観まちづくり活動・教育部門」は、地域に関わる人々が景観に関心を持ち、自らの問題として捉え、その解決へ向けて活動できるよう意識啓発、知識の普及、景観法や景観に関する制度等（以下「景観制度」という。）を活用した取組等による活動を選定・顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

### 2. 表彰内容

- ① 大賞（国土交通大臣賞） …………… 1活動
- ② 優秀賞 …………… 数活動
- ③ 特別賞 …………… 内容に応じ、適宜選定

### 3. 対象活動の要件

景観まちづくり教育の実施や、街歩きや景観に関するセミナーの開催、景観制度を活用した取組など景観まちづくり活動の実施による良好な景観形成等のための活動を地域に根差して行っており、それらが地域の人々の景観への意識・関心の高揚等につながっている優れた活動を対象とします。

### 4. 応募者の資格

景観まちづくり活動や景観まちづくり教育による意識啓発、知識の普及、景観制度を活用した取組などを行っている、学校、まちづくり組織、市民団体、地方公共団体などで、かつ、地域に根差した活動を3年以上継続して実施している団体とします。

### 5. 審査

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地視察、ヒアリング）した上で、表彰活動を選定します。

### 6. 審査委員

[委員長]

小澤紀美子 東京学芸大学名誉教授

[委員]

卯月 盛夫 早稲田大学教授

楚良 浄 東京都立学校非常勤教諭

福井 恒明 法政大学教授

国土交通省 都市局公園緑地・景観課長

(順不同、敬称略、令和4年3月現在)

■主催：「都市景観の日」実行委員会 \*下線は協賛団体も兼ねています

(公財)都市づくりパブリックデザインセンター、(公財)都市計画協会、(一社)日本公園緑地協会、(独)都市再生機構、  
(一財)民間都市開発推進機構、(公社)日本都市計画学会、(一財)都市みらい推進機構、(公社)街づくり区画整理協会、  
(一社)日本屋外広告業団体連合会、全国景観会議、都市景観形成推進協議会、歴史的景観都市協議会、全国街路事業促進協議会

■後援：国土交通省

■協賛団体：

(一財)都市文化振興財団、(一財)計量計画研究所、(公財)区画整理促進機構、(公社)日本交通計画協会、(一社)再開発コーディネーター協会、  
(一社)日本造園建設業協会、(一財)公園財団、(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会、(公社)日本下水道協会、  
(公財)自転車駐車場整備センター、(公社)立体駐車場工業会、全国土地区画整理事業推進協議会、都市再開発促進協議会

■事務局：(公財)都市づくりパブリックデザインセンター

〒112-0013 東京都文京区音羽2丁目2番2号 アベニュー音羽2階 TEL 03-6912-0799 URL <https://www.udc.or.jp>